

2024年4月12日

# PRESS RELEASE

Asahi アサヒグループ大山崎山荘美術館

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 TEL 075-957-2364

愛知県陶磁美術館コレクション

A JOURNEY THROUGH THE 7,000-YEAR HISTORY OF CHINESE POTTERY AT THE OYAMAZAKI VILLA

# 中国やきもの 7000年の旅

大山崎山荘でめぐる  
陶磁器ヒストリー

2024  
6/1(土)  
→9/1(日)

Asahi アサヒグループ大山崎山荘美術館

（右）彩騎彫 唐時代8世紀 / 愛知県陶磁美術館蔵

アサヒグループ大山崎山荘美術館は、2024年6月1日(土)から9月1日(日)まで、企画展「愛知県陶磁美術館コレクション 中国やきもの7000年の旅—大山崎山荘でめぐる陶磁器ヒストリー」を開催いたします。

愛知県陶磁美術館のコレクション約80点により、中国新石器時代から清朝にいたるまで7000年に及ぶ悠久の中国陶磁の歴史を概観します。神秘的な土器の世界、副葬品として用いられた多彩色の器や日常の世界を再現する建築明器<sup>めいき</sup>、世界に影響を与えた青花<sup>せいか</sup>や、五彩<sup>ごさい</sup>をはじめとする数多くの技法などを、中国各地の窯の代表作品を通じて紹介します。「シルクロードを行き交う砂漠の舟」「蓋のつまみにゆるキャラ獅子」といった、各作品の特徴を捉えたユニークなキャッチフレーズが、作品鑑賞をより一層楽しく演出します。

約100年前に建てられた大山崎山荘の建築、室内の中国古代の意匠と、絢爛たる中国陶磁の共演も見どころです。

## 【本展に関するお問い合わせ先】

アサヒグループ大山崎山荘美術館 TEL 075-957-2364 FAX 075-957-3126

広報担当：太田 道子 担当学芸員：野崎 美美子、中井 珠生

## 【開催概要】

展覧会名 : 愛知県陶磁美術館コレクション

中国やきもの7000年の旅—大山崎山荘でめぐる陶磁器ヒストリー

会 期 : 2024年6月1日(土)–9月1日(日)

休 館 日 : 月曜(ただし7月15日、8月12日は開館)

7月16日(火)、8月13日(火)

開館時間 : 10:00–17:00(最終入館 16:30)

会 場 : アサヒグループ大山崎山荘美術館

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3

JR山崎駅、または阪急大山崎駅より徒歩約10分

TEL:075-957-3123(総合案内)

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com>

主 催 : アサヒグループ大山崎山荘美術館

特別協力 : 愛知県陶磁美術館

後 援 : 京都府、大山崎町、大山崎町教育委員会、NHK京都放送局、京都新聞、エフエム京都

入 館 料 : 一般1,200円(1,100円)、高大生500円(400円)

中学生以下無料、障害者手帳をお持ちの方300円

※( )内は 20名以上の団体の場合

作品点数 : 約80点

展覧会URL : <https://www.asahigroup-oyamazaki.com/exhibition/chineseceramics/>



ポスタービジュアル

## 【展示構成】

### 第1章：新石器時代から初期王朝時代 原始の多彩なやきもの

紀元前5000年の中原(中国古代の王朝が興った黄河中流域の平原地帯)の仰韶文化をはじめ、紀元前2000年  
紀の大汶口、良渚、龍山文化など辺縁に広がる新石器時代から初期王朝時代のバラエティに富んだ古代の  
やきものを紹介します。また、関連する玉器のコレクションも展示します。

### 第2章：戦国時代から漢時代 墓におさめられた死者への思い

戦国時代の作品から、金属器を模した華麗な原始磁器を紹介します。また、死後の世界観に現世の延長と  
天上世界への憧れが現れた漢時代。副葬品としての明器と呼ばれるやきものから、当時の人々の暮らしや  
思想をたどります。

### 第3章：三国時代から隋時代 うわぐすり発展の兆し

三国時代から南北朝・隋時代にかけて、中国南北の交流により技術が広範囲に渡り、新たな形態のやきも  
のが出現しました。初期の青磁や白磁など、施釉陶器の発展の兆しに生まれた作品を紹介します。

### 第4章：唐時代から宋・元時代 世界に広がる中国のやきもの

シルクロードによって東西の文化を吸収、流通した華麗で荘厳な唐三彩から、中国陶磁史上、器形・釉調、  
文様の美しさが極まった宋・元時代のやきものについて概観します。越州窯・耀州窯・龍泉窯の青磁、定  
窯の白磁、景德鎮窯の青白磁、素朴で力強い磁州窯などの作品を紹介します。

### 第5章：明・清時代のやきもの 青花・五彩と文人趣味

世界が憧れた青花や五彩磁器には、当時の皇帝の嗜好や美意識が反映されています。景德鎮窯や漳州窯の  
作品を中心に、中国陶磁の美意識の推移と技術の発展をたどります。日本で流行した中国文人趣味の世界  
もあわせて紹介します。

## 【会期中のイベント】



ゆうせんくつ

イベント名：煎茶会「中国陶磁と煎茶を楽しむ」

日時：2024年6月8日(土)11:00-12:30 / 15:00-16:30

講師：高取友仙屈氏たかとりゆうせんくつ (煎茶道賣茶流4代家元)  
せんちやどうばいさりゆう

田畑 潤氏(愛知県陶磁美術館主任学芸員、煎茶道賣茶流師範 田畑 貞仙窟)

会場：彩月庵(当館庭園内茶室、通常非公開)

内容：講師による煎茶の点前実演と解説、トークをお楽しみいただきます。当館庭園の竹林の中にある通常非公開の茶室で、煎茶を味わいながら風流なひとときをお過ごしください。

定員：各回10名(要予約、先着順)

参加費：2,000円(煎茶、茶菓子含む。ただし展示をご覧になる場合、美術館入館料が別途必要)

申込：企画展ウェブページの申込フォームよりお申込みください。

◎申込フォーム：<https://form.run/@oyamazaki-chineseceramicsevent-1>

※申込み受付開始：2024年4月20日(土)10:00-

※申込は1回につき1名様まで

※電話・メールによる受付はいたしません

※定員に達し次第、当館ウェブサイトでお知らせいたします

主催：アサヒグループ大山崎山荘美術館

イベント名：中国伝統楽器コンサート

日時：2024年7月6日(土)17:30-18:30

出演：韓 秋月氏(二胡奏者)

会場：美術館本館

内容：美術館閉館後、夕暮れを迎える大山崎山荘(美術館本館)で中国の伝統楽器・二胡のコンサートを開催します。歴史的建築の中で、悠久の時を感じる音色をお楽しみください。

定員：50名(要予約、先着順)

参加費：2,000円(記念品を含む。ただし美術館入館料が別途必要)

申込：企画展ウェブページの申込フォームよりお申込みください。

◎申込フォーム：<https://form.run/@oyamazaki-chineseceramicsevent-2>

※申込み受付開始：2024年4月20日(土)10:00-

※申込は1回につき2名様まで

※電話・メールによる受付はいたしません

※定員に達し次第、当館ウェブサイトでお知らせいたします

主催：アサヒグループ大山崎山荘美術館



## 【会期中のイベント】

イベント名：愛知県陶磁美術館学芸員によるギャラリートーク

「中国やきもの7000年の旅」

日 時：2024年7月14日(日)11:00-12:00 / 15:00-16:00

講 師：田畑 潤氏(愛知県陶磁美術館主任学芸員)

内 容：所蔵館学芸員によるギャラリートークを開催します。中国やきものの華麗なる技法や意外な用途など、多彩な見どころを解説します。

参加費：無料(ただし美術館入館料が別途必要)

申 込：不要

主 催：アサヒグループ大山崎山荘美術館

イベント名：大山崎山荘ガイドツアー(館内一部の写真撮影可)

日 時：2024年8月10日(土) / 20日(火)9:30-10:30

内 容：築100年を超える大山崎山荘(美術館本館、登録有形文化財)を解説付きでご案内します。ツアー内では、普段はできない本館での写真撮影も可能です。通常の開館時間より早くスタートします。朝の光が降り注ぐ建物にもご注目ください。

参加費：無料(ただし美術館入館料が別途必要)

定 員：各回10名(要予約、先着順)

申 込：2024年7月頃受付開始

※詳細は当館ウェブサイトをご確認ください

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com/exhibition/chineseceramics/>

主 催：アサヒグループ大山崎山荘美術館



## 【カフェ企画】

内 容：展示期間中、当館喫茶室で期間限定のオリジナルスイーツメニューを提供いたします。

期 間：展覧会会期中

会 場：当館喫茶室

協 力：リーガロイヤルホテル京都

※スイーツ詳細は当館ウェブサイトで2024年5月下旬頃にご案内予定です

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com/exhibition/chineseceramics/>

## 【広報画像について】

本展の広報画像全5点の詳細は、企画展ウェブページでもご紹介していますのでご確認ください。

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com/exhibition/chineseceramics/>

①

「おしゃれで実用的」



《紅陶尖底双耳瓶》  
黄河中流域/新石器時代中期・仰韶文化半波類型(紀元前5000~紀元前4000年頃)/愛知県陶磁美術館蔵

②

「2000年前のタワーマンション」



《緑釉樓閣》華北/後漢時代(1~2世紀)/愛知県陶磁美術館蔵

③

「シルクロードを行き交う砂漠の舟」



《三彩駱駝》  
鞏義窯/唐時代(8世紀)/愛知県陶磁美術館蔵

④

「蓋のつまみにゆるキャラ獅子」



《青白磁水注》  
景德鎮窯/北宋時代(11~12世紀)/愛知県陶磁美術館蔵

⑤

「一つの器に四季の花」



《黒地素三彩四季花図方瓶》  
景德鎮窯/清時代(17~18世紀)/愛知県陶磁美術館蔵

・ 作品クレジットについて  
《作品名》生産地・制作地/製作時代(年代)/所蔵

・ 「」内は作品キャッチコピー

※作品クレジットの短縮掲載に関しましては、  
広報担当にご相談ください

## 【広報画像使用・取材申請について】

当企画展の画像使用や取材の申請は、当館ウェブサイト「プレスリリース」内の  
広報画像・取材申請フォームからお願いいたします。追って広報担当よりご連絡いたします。

広報画像・取材申請フォーム：<https://form.run/@oyamazaki-chineseceramicspress>